

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はな		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		2026年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		2026年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会性・コミュニケーションの発達を促すとともに、本人にとって負担なく他者と関わった経験を積めるように配慮し、個別や集団などさまざまな形態の療育を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ CARE・JASPERなどエビデンスに基づいた専門的な知見を取り入れる ・ 個々の状態をアセスメントし、ひとりひとりに合わせた支援を実施する ・ 集団療育の中でも必要に応じて個別的な対応を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフの研修機会を確保し、個々のスタッフのスキルアップを図る ・ 学校との連携により、日常生活の中での状態をアセスメントし、療育で獲得した社会性やコミュニケーションの力を生活全般に汎化できるように促す
2	保育士・児童指導員・作業療法士・公認心理師といった多職種がかかわり、多様な視点で支援を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の領域にかかわらず、5領域全般を意識した多様な視点で、子どもの状態を評価する ・ 子どもの課題だけではなく、強みを把握し、生活の中で生かすことができるように支援を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職種の視点を全体で共有する場をさらに意識して確保する
3	子どもだけではなく保護者の支援にも重点的に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の送迎や定期的な面談などで保護者とやりとりし、お子さんについて保護者と共通理解に立って支援できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の保護者のニーズに応じて、フレキシブルに面談の機会を設定するなど、保護者ひとりひとりに合わせた支援を行う

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人外の第三者評価などが実施されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人外との連携が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者評価の実施を検討する
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や学校などとの連携が不十分なところがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人外との連携が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等訪問支援を実施し、個々の子どもの支援のみならず、地域や学校との関係づくりに努める ・ 自立支援協議会への参加など、法人外とのつながりを作る場に積極的に参加する
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス はな		公表日		2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		指導室を複数確保し、活動内容や子どもの特性に応じて使用する部屋や同時に活動する人数を調整することで、より子どもが学びやすい環境づくりに配慮しています。	運動療育は大型遊具もあることから、特に中学生以上の利用児にとっては必ずしも広さを確保しているとは言えない状況があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		個別療育は1対1、集団療育では最大10人に対して職員5名が対応可能な体制を整えています。職員が研修・外勤で不在にする際の代替職員も確保しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動と部屋を対応させることで、何がはじまるのか、何を求められているのかがわかりやすい環境設定をこころがけています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日々の清潔に加え、湿度温度管理等、できるだけ快適に過ごせる環境となるよう配慮しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、個別に対応できるよう、部屋や場所を柔軟に活用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者を中心として、計画に沿った支援を行い、随時評価や振り返りをしながら、支援の改善を図っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年1回保護者に評価アンケートを実施し、保護者の意向等を把握する機会を設けています。内容についても、職員間で共有し、必要に応じて事業計画に盛り込みむなど改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日のミーティングを実施するとともに、少なくとも年に1回程度個別の面談を実施し、職員の意見を聞く機会を設け、業務の改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は実施できておりません。	第三者による外部評価の実施を検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		ESDMやCAREといった専門的な療法の研修を職員全員が受講するとともに、法人内・事業所内研修のほか、外部で行われる研修にも随時参加しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを作成し、ホームページ上で公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		日々の療育における行動観察や保護者からの働き取り、発達検査などのフォーマルなアセスメントをもとに課題を分析し、個別支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		事前に職員間で支援計画や目標設定について検討し、放課後等デイサービス計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		作成した計画をスタッフ全員が確認することに加え、毎日の振り返りの際に、目標とそれに沿った対応の確認を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		ニーズに応じて心理士によるフォーマルアセスメントを行っています。日々の療育の中で行動観察等のインフォーマルアセスメントを行い、職員間で共有しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		放課後等デイサービスガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、それぞれのお子さんに合わせた具体的な目標と支援内容を記載しています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの中で、SSTや運動療育の内容を全職員で検討し、プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		大きな枠組みは変えないことで、流れや求められていることがわかりやすい設定を維持しています。その上で、活動内容については数回で変えたり、月に1回程度特別な活動を入れることで、楽しめるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		活動内容と子どもの状況によっては、集団活動だけでなく個別活動の時間も組み込むなど、お子さんに合わせた支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎朝ミーティングを行い、支援内容や活動の流れ・職員の配置や役割分担について確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援終了後は各自記録を取りながら、その日の様子を確認し合い、情報共有をしています。また、支援内容やお子さんの様子等についても、翌日のミーティング時に振り返りの時間を設け、共有、検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		その日の状態や行動等を記録すると共に、どの職員も見られる環境を整えています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		お子さんの状況のアセスメントや保護者の意向やニーズを確認したうえで定期的に見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		『日常生活の充実と自立支援のための活動』では、個々の特性に応じて視覚情報を用いたり構造化することで、日常生活に置ける基本的な動作等を自立的に行動できるよう支援しています。また、『多様な遊びや体験活動』では、余暇時間や運動場面等でお子さまが興味を持って取り組めそうな活動を複数提示し、お子さまの選択・決定に沿って活動しています。『こどもが主体的に参画できる活動』では、特に中学年であればゲーム中のルールを出し合い、それをもとに活動を進めていくといった形で、部分的ではありますが主体的に参加できるような取り組みを行っています。	事業所内で活動しておられるため、地域との関わりや、居場所づくりについては取り組めていません。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		主におやつや学習場面で選択肢を提示し、自己決定できるような支援を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		会議には可能な限り児童発達支援管理責任者と子どもの担当職員とで参加できるよう調整しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		同法人ときわ子ども発達センターのDrとのミーティングを月1回実施しています。その他、必要に応じて個別支援計画や診察の結果等を保護者の同意の下で相互に情報提供しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		適宜、保育所等訪問支援で、学校との情報共有・連携を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		併設の児童デイサービスおはな（児童発達支援事業）の利用児が継続して当事業所の利用を希望するケースが多いため、情報共有は密に行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		同法人の相談支援事業所こすもすと連携し、円滑にサービスが移行するよう、情報提供を行っています。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援センターによる研修に参加しています。また、年に2回地域マネジメント事業の受け入れをしています。		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			保護者や子どもたちのニーズがあれば今後実施を検討したいと思います。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		自立支援協議会こども部会主催の交流会、研修会に全職員が参加しています。		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		毎回の送迎の際に、必ず口頭で保護者にその日の活動の様子を報告し、同時に家庭や園での様子をお伺いする機会としています。		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今年度は実施することができませんでした。来年度は1回程度、保護者教室の実施を検討しています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		支援内容、利用者負担等は契約時に説明し、運営規定を掲示することで、いつでも見られるようにしています。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別面談や日々の療育の際に、毎回個別にお子さんとも保護者ともやりとりし、意向を確認する機会としています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別面談を行って、保護者とやりとりし、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の療育送迎の際に、児童発達支援管理責任者を中心に、すべてのスタッフが保護者からの相談を聴き取り、必要に応じて面談の場を設け、助言しています。	より質の高い具体的な助言や支援ができる様、職員の連携やスキル向上に努めていきたいと思ひます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者や子どもたちのニーズがあれば今後実施を検討したいと思ひます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		重要事項説明書に法人内の苦情受付担当者や第三者委員を明記しています。また、相談体制についても周知しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		活動内容や連絡事項を記載したお便りを、概ね3か月に1回程度、計4回発行しました。今後も、定期的に発行し、活動内容の報告や、連絡事項の周知ができるよう継続していきたく思ひます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		記録の管理を厳密に行うとともに、写真の取り扱いや医療機関との連携に際しては、書面での同意をいただいています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもへの説明は言葉だけでなく、必要に応じて図やイラストなどの視覚情報もを用いて意思疎通が図れるよう支援しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、職員に周知しています。	策定は行っていますが、周知が不十分であると思われるため、今後周知の徹底が必要と思われる思ひます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、半年に1度、消防設備点検及び自主訓練を実施している。また、災害マニュアルの職員への周知を行っている。	策定は行っていますが、周知が不十分のため、今後周知の徹底が必要と思われる思ひます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者に児童票への記入を依頼し、状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者の深刻に基づく対応を行っています。また、一覧表にしてスタッフが情報を共有し、対応にずれがないようにしています。	医師の指示書に基づく対応も、今後検討が必要と思われる思ひます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、定期的な環境のチェックと改善を実施しています。	必要な安全管理を実施しているが、保護者への周知は不十分であり、今後周知を徹底する必要があります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		必要な安全管理を実施しているが、保護者への周知は不十分であり、今後周知を徹底する必要があります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案があった場合には、スタッフ間で共有し、再発防止やさらなる事故の防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内の会議を定期的実施するとともに、職員に対する研修も行って思ひます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		実際に身体拘束の実施や計画に記載している方はおりませんが、そのような場合には十分な説明を実施する予定です。	

公表

保護者様からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスはな

公表日 年月日 令和8年(2026年)3月31日

利用児童数 74

回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 お子さんの活動に合わせた環境が設定されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> -いつも工夫していただいている。 -個室での学習もできるのが、ありがたいです。 -通っているフリースクールにも時々行き、浴る息子ですが、はなさんには一度も行きたくないといったことがありません。本人の特性を理解した上でいろいろな配慮をしていただいていることを感じます。 -時間や場所の区切りがはっきりしている。 	いつどこで・なにがあり、どのように過ごすことが求められるのかを、時間や場所を区切ることでわかりやすく伝えています。今後も、お子さんが不安なく、活動そのものに集中して参加し、爽り多い時間となるよう、お子さんに合わせた環境づくりに努めたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切ですか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> -子供の事を良くみてもらってます！ -毎度同じ先生が継続的に見てくれる安心感ある。 	これからもスタッフ一同専門性の向上に努めたいと思います。
	3 事業所の設備は、お子さんや保護者様が安全に使えるよう配慮されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> -スタッフの方々の子どもへの対応だけでなく、時間配分や部屋の大きさなど多岐に渡り専門性に基づいた設計がされていると思います。 -待合室で待てるのがありがたい。事務の方と世間話ができるのもリフレッシュになって助かる。 	引き続き安全面に配慮していきます。建物や遊具についても定期的にメンテナンスし、お子さんが安全かつ快適に過ごせるように配慮します。
適切な支援の提供	4 お子さんや保護者様のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、個別支援計画書が作成されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> -毎回詳細に書いてくださり感謝している。 -現在や今後において、本人にとって必要な課題を的確に立案していただいています。 	今後もお子さんや保護者の方のニーズを踏まえて、支援計画書を作成してまいります。
	5 活動プログラムや対応はお子さんの状態に合わせて工夫されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> -臨機応変に対応してもらって感謝している -思春期に入ってきたらまたいろいろと相談させてもらいたいです。 -いつも通うのを楽しみにしており、感謝している。 -本人の気持ちを大切に、好きなもの、興味をひくような活動に取り入れて楽しく活動させていただいています。 	今後もお子さんの状態に合わせて無理なく安心して過ごせる場であることを第一に、それぞれのお子さんに合わせた活動やプログラムを検討していきます。
	6 見学や契約の際に支援の内容、契約の内容などについて、丁寧な説明を受けましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> -最初から発達に関するとても丁寧な説明をして下さり、こちらもとても勉強になりましたし、とても信頼できる場であると感じました。今もそう思っています。 	今後も丁寧な説明に努めています。ご不明な点がございましたら、いつでもスタッフにご確認ください。
保護者への説明等	7 毎回の利用の際のお子さんの状況が、保護者様に適切に伝えられていますか。	96.9%	0.0%	3.1%	<ul style="list-style-type: none"> -詳しく教えてもらっています。 -子供の小さな成長や成果が分かるように観察してみてください -困りごとが少ないから、「今日は〇〇をやりました」などの簡潔な伝言のみが多い印象です。 -活動の内容や状況、普段の生活上での困りごとなども相談ののってほしい、貴重なアドバイスをいただき大変嬉しく思っています。 	毎回のご利用時のご様子をお伝えするとともに、保護者の方からご家庭や学校でのご様子等も教えていただける貴重な時間となっています。毎回の送迎でお手間をおかけしますが、密に情報共有をすることができ、大変ありがたく思っております。
	8 保護者様に対しての支援計画書の説明、面談や育児に対するアドバイスなどの支援が適切に行われていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> -いつも丁寧に相談ののっていただいています。 -目から鱗なこともあり、とても参考になっています。 	これからも保護者の方とお子さんの状態について具体的に共有しながら、日常生活の中での関わり方について、保護者の方と一緒に考えていければと思います。
	9 保護者様と職員の間で、お子さんの発達の状況や課題について共通理解がされていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> -病院の予約に繋げて下さり、感謝している。 	日々の送迎や面談などで、保護者の方と丁寧にお子さんの状態を共有していければと考えております。支援計画書の説明時以外にも、必要に応じて面談を実施いたしますので、ご希望の方はいつでもお申し出ください。
	10 お子さんや保護者様からの苦情、ご指摘に対し、迅速かつ適切に対応されていますか。	96.9%	0.0%	3.1%	<ul style="list-style-type: none"> -今までありませんでしたので分かりません 	気になる点がございましたら、いつでもスタッフまでお申し出いただければと思います。
	11 定期的にお便りなどで活動予定や内容をお知らせされていますか。	100.0%	0.0%	0.0%		これからもお便りを通して活動のご様子をお伝えしていきたいと思っております。
	12 個人情報に十分配慮されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%		個人情報についてご不安な点がある場合には、遠慮なくお申し出ください。

非常時等の対応	13	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが作られ、その説明を受けていますか。	62.5%	3.1%	34.4%	・説明されたか覚えていない ・よく解らない	マニュアルは1階待合室に備えてあります。今後の契約の際には左記のマニュアルについても丁寧に説明したいと思います。
	14	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	56.3%	3.1%	40.6%	・特に避難訓練をしたと聞いた記憶があまりなく、わからない ・覚えていない	避難訓練を年2回実施しています。お便り等を通して、保護者の方にも訓練の様子についてお伝えしていきたいと思ひます。
満足度	15	お子さんは通所を楽しみにされていますか。	93.8%	0.0%	6.3%	・とても楽しんでいます。 ・毎回とても楽しみにしています。	楽しみに通所されているお子さんが多く、うれしく思ひます。行き渋りがあるお子さんはスタッフまでご相談ください。お子さんにとって無理なく活動に参加できるように、保護者の方のご意見もうかがいながら相談し、対応していきたいと思ひます。
	16	事業所の支援に満足されていますか。	96.9%	0.0%	3.1%		これからも、お子さんと保護者の方にとって満足いただけるよう、取り組みまいります。ご要望ございましたらいつでもお申し出ください。
	17	個別療育の内容に満足されていますか。 (個別療育利用の方のみ)	100.0%	0.0%	0.0%	・できたって気持ち自信がついてるような感じがします。 ・学校のプリントや、自分が作りたい物なども、対応していただき助かっています。 ・本人の意向を療育に取り入れてもらい、毎回楽しく学ばせていただいています。先生の皆様、とても優しいです。	これからもお子さんが「できた」という経験を積み、楽しさや自信に繋げていくことができるよう、スタッフ一同関わっていきたく思ひます。お子さんご自身のご希望ややりたい気持ちを大事にするともに、保護者の方のご要望等についても聞きながら、進めて参りたいと思ひます。